

令和6年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、令和6年度のテーマを「安心・笑顔・信頼～地域の安心支援拠点へ～」として、以下4項目の重点目標を中心に、各事業所で取り組みました。

【重点目標に対する取り組み】

1. 経営の健全性・維持・改善への取り組み

- 1) 入居者・利用者の確保（稼働率・利用率の維持向上）に取り組んだが、賀宝の里白松苑の短期入所を除き、前年度に比べ稼働率が減少した
- 2) 経費の節減に取り組み、介護用品や食材料の購入価格や購入先を見直した。物価が高騰する中、特に事務費は賃借料や保険料の見直しを行うことで、昨年度並みに抑えることができた。
- 3) 業務の効率化、「な・い・じゅ・か」（無くせないか、一緒にできないか、順番を変えられないか、簡単にできないか）を実践した。

2. ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムにおける当法人の役割・連携の強化

- 1) 医療ニーズへの対応として医療機関との連携体制を強化し、新たな加算の取得を行った。
- 2) 認知症対応、看取り、虐待防止、身体的拘束廃止等の職員研修を行い、介護サービスの質の向上を図った。
- 3) 事業継続計画を策定し、感染症・災害への対応力の向上を図った。

3. 自立支援・重度化防止に向けた対応

- 1) 機能訓練体制を強化し、リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理を一体的に提供する取り組みを行った。
- 2) LIFE（科学的介護情報システム）を活用し、加算の取得を行うとともに、ビッグデータを日々の介護に反映できるよう取り組んだ。
- 3) ADL（日常生活動作）の維持向上への取り組みや、よりよい排せつケア方法の検討、褥瘡予防への取り組みなど、介護サービスの質の向上を図った。

4. 人材の確保・定着・育成

- 1) 職場環境改善プロジェクトチームを中心に働きやすい職場環境づくりに取り組み、やまぐち働きやすい職場宣言の認証を、全事業所で取得した。
- 2) 処遇改善手当や処遇支援手当等により、介護職員はもとより、全職員の処遇の改善を行った。
- 3) ICT等のテクノロジーの活用を促進するため、展示会やセミナー等に参加し情報収集、検討を行った。
- 4) 外国人介護人材としてミャンマーから技能実習生を2名受け入れ、実習指導を行った。その結果2名とも技能実習初級試験に合格することができた。

法人本部

1. 理事会

- 1) 日時：令和6年5月31日 16:00～17:15 場所：阿知須共立病院職員ホール

理事総数 6 名、出席者：理事 6 名 監事 2 名

議事

議案第 1 号 令和 5 年度事業報告並びに決算について

議案第 2 号 給与規程の変更について

議案第 3 号 旅費規程の変更について

議案第 4 号 定時評議員会の開催について

報告事項 ①理事長の職務執行状況について

②外国社債の運用状況について

2) 日時：令和 6 年 9 月 2 日 16：30～17：00 場所：阿知須共立病院職員ホール

理事総数 6 名、出席者：理事 6 名 監事 2 名

議事

議案第 1 号 監事候補者の選出について

議案第 2 号 評議員候補者の選出について

議案第 3 号 評議員選任・解任委員会の委員の選出について

議案第 4 号 評議員会選任・解任委員会の開催について

議案第 5 号 評議員会の開催について

報告事項 ①理事長の職務執行状況について

②外国社債の購入・運用状況について

3) 日時：令和 7 年 3 月 6 日 16：00～16：50 場所：阿知須共立病院職員ホール

理事総数 6 名、出席者：理事 6 名 監事 2 名

議事

議案第 1 号 令和 6 年度第一次補正予算について

議案第 2 号 令和 7 年度事業計画並びに収支予算について

議案第 3 号 職員就業規則、育児・介護休業等に関する規則の変更について

議案第 4 号 経理規程の変更について

議案第 5 号 協力医療機関委託契約書の締結について

議案第 6 号 評議員会の招集について

報告事項 ①理事長の職務執行状況について

②外国社債の運用状況について

2 評議員会

1) 日時：令和 6 年 6 月 18 日 14：00～14：40 場所：白松苑会議室

評議員総数 7 名、出席者：7 名、議長：渡邊通章評議員

議事

議案第 1 号 令和 5 年度事業報告並びに決算について

議案第 2 号 給与規程の変更について

議案第 3 号 旅費規程の変更について

報告事項 ①理事長の職務執行状況について

②外国社債の運用状況について

2) 日時：令和6年9月20日 14:00～14:30

評議員総数7名、出席者：5名、議長：兼重隆文評議員

議事

議案 監事の選任について

報告事項 理事長の職務執行状況について
外国社債の購入・運用状況について

3) 日時：令和7年3月26日 14:00～14:45

評議員総数7名、出席者：6名、議長：中野史子評議員

議事

議案第1号 令和6年度第一次補正予算について

議案第2号 令和7年度事業計画並びに収支予算について

議案第3号 職員就業規則(育児・介護休業等に関する規則)の変更について

議案第4号 経理規程の変更について

議案第5号 協力医療機関委託契約書の締結について

報告事項 ①理事長の職務執行状況について
②外国社債の運用状況について

特別養護老人ホーム白松苑

1 事業概要

「地域の安心支援拠点」を目指した施設運営を心がけると共に新型コロナウイルス等の感染症防止と地域・家族等との交流機会の両立を目指した。また入居者の暮らしをより良くする為、ユニットケアの推進と職員の働きやすい環境づくりを行った。昨今の物価高騰に対応する為、電気代のデマンド管理、食材の調達先の見直し等により、経費削減に取り組んだ。収入増の取り組みとして新たな加算取得を行った。

2 主要事業

1) 経営管理

- ・目標の稼働率 特養：92.4% SS：90%としていたが、当施設や医療機関での新型コロナウイルスやインフルエンザ発生・流行により、新規入居者を受け入れられるまでに時間を要した結果、特養：88.5%、ショートステイ 77.5%となり、目標を下回った。入居者の平均要介護度は特養 3.93、ショートステイ 2.27 と昨年を下回った。
- ・生活相談員が定期的に医療機関・老健・居宅介護支援事業所等を訪問し広報活動を積極的に行った。待機者の確保・ショートステイの新規利用者の獲得に努めた。また1月から外部精神科医と連携し精神科の定期療養指導加算を取得。収入増に繋げた。

2) 感染症防止と家族・地域との交流の両立

- ・阿知須共立病院による感染症研修へ参加や苑内を医師・看護師が実際にラウンドしてもらい実地での感染症指導を職員が受ける事で日頃の感染症予防に努めた。

- ・新型コロナウイルス等感染症を防ぐため、日頃から入居者・職員共に手洗い・消毒等の感染予防を行った。
- ・地域での感染状況を踏まえながら各種ボランティアの受入れ、入居者の外出や地域行事参加を支援した。
- ・家族と入居者の居室での面会を再開。家族と入居者の直接の面会する機会を確保した。
- ・市社会福祉協議会等と連携し阿知須小学校 4 年生(82 名) 介護体験を開催。高齢者疑似体験や車椅子体験を行った。

3) 入居者の自立支援

- ・ケアプラン更新時、家族参加でのカンファレンスを開催。職員・家族と相互にコミュニケーションを図る事でより良いケアプランの作成、実行に繋がった。
- ・入居者の 24 時間シートの作成に取り組み、個別ケアの充実を図った。
- ・ユニット内でのおやつ作り等の行事を開催した。また入居者・家族と話し合いながらドライブ等を行い、外出の機会を確保するよう努めた。
- ・阿知須 toi 歯科と日頃から入居者の関わってもらう事で口腔ケアの質の向上を目指した。また医師・衛生士による年 2 回の研修を行い介護職員等が参加。口腔ケアのスキルアップを繋げた。

4) 働きやすい環境づくり

- ・職場環境プロジェクトチームを中心に施設内の課題について議論し、積極的な意見交換を行った。職員の意見を反映させ、業務改善、必要な物品の購入等を行い、職員の満足度の向上と風通しのよい職場づくりに努めた。

5) 経費の節減

- ・自動車保険のフリート等級が上がり、年間 205,346 円の削減となった(法人所有の全車両分)
- ・火災保険の更新に合わせ業者を見直し、同内容で年間 71,414 円の削減となった(賀宝の里白松苑分)
- ・昨年度途中より駐車場用地賃借料の見直しを行い、今年度 537,030 円の削減となった
- ・令和 4 年度より電気代についてデマンド管理を導入し、入居者の暮らしに支障の無い範囲で電気使用量の削減に取り組んだ(導入前に比べ年間 2,184,660 円の削減、デイサービス含む)
- ・給食費削減のため、農業法人川西より安価で質の良い玉ねぎ、キャベツ等の野菜を新たに購入するようにした。
- ・その他介護用品や事務用品の質を落とさず、より安価な物に変更した。

6) 人材の育成

- ・施設内での実践的な感染症対策訓練や山口消防署との救命研修(介護職員等 25 名参加)等を行った。また身体拘束、虐待防止、事故防止等の研修を行い、職員のスキルアップに努めた。
- ・認知症介護実践リーダー研修・介護技術研修会・ユニットリーダー研修・介護福祉職のための感染対策研修・福祉施設給食担当職員研修等の外部研修へ延べ 83 名が参加。個人のレベルアップと共に研修へ参加した職員は他職員へ情報共有を行い、知識の共有化を図った。
- ・事務室に介護主任を新たに配置。介護主任がユニットを毎日ラウンドする事でユニットのケアの状況、職員の思い、人員体制の過不足等を随時把握。苑長等と情報共有・連携する事でユニットの課題改善に繋がった。

- ・年 2 回の人事考課面接以外でも職員の個別相談等の面談を適宜行う事で職員のコミュニケーションを図り、より良い職場環境の醸成に繋げた。
- ・資格取得・研修等受講料の貸付制度を創設し、職員の自己啓発、資格取得等を推進した。
(利用実績 1 名)
- ・ミャンマーから 2 名の技能実習生を受入れ、異国の地でも安心して働ける様、多職種でチームを作り、介護秘術はもとより日本語習得、日常生活までサポートしている。

3 介護保険の実績

() は前年度

	入所 定員	稼働率 %	平均 要介護度	年間利用人員 (延べ)
正 規 入 居 者	100	88.5 (89.1)	3.93 (4.02)	32,294 (32,618)
短 期 入 所	20	77.5 (85.8)	2.27 (2.40)	5,654 (6,274)
利用者総数	120	88.6 (89.4)	3.68 (3.72)	37,896 (38,892)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
5 月	母の日行事 (各ユニットで実施)
6 月	父の日行事 (各ユニットで実施)
8 月	地藏尊大祭
9 月	敬老会
12 月	クリスマス会 (各ユニットで実施)
1 月	お正月お祝い膳
2 月	節分行事
3 月	ひな祭り

5 定例的又は随時行われる娯楽等

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 誕生日のお祝い | 毎月 (各ユニットで個別にお祝い) |
| (2) 苑内ショッピング | 毎週注文による配達 |
| (3) 一般買い物 | 必要の都度随時 |
| (4) ミニ喫茶 | 毎日 午前午後 |
| (5) ぬり絵・ちぎり絵 | 希望時 随時 |
| (6) 習字クラブ (個別対応) | 希望時 随時 |
| (7) 俳句の会 | 毎月/第 3 週水曜日 |

6 ボランティア等による舞踏等

阿知須幼稚園へ利用者の手づくりカレンダーを手渡す

7 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
5 月	職員の定期健康診断（夜勤者・腰痛検診）
6 月	入居者定期健康診断
11 月～3 月	職員の定期健康診断（全員・腰痛検診）
10 月	入居者・職員 インフルエンザ予防接種
4 月～3 月	入居者・職員 新型コロナ予防接種
毎週 月・金	医師による回診
毎月 1 回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月 2 回	訪問散髪（きらら、ゆうとびあ）
毎月 1 回	厨房職員検便（6 月～9 月は月 2 回）
毎月 1 回	ゴキブリ駆除（厨房 12 回、居室その他年 2 回）
入居者入居時	入居時健康診断

8 家族との連携に関するもの

- ・全家族へ毎月入居者のお過ごしの様子を写真にて送付
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザの感染状況に応じた面会受入れ

9 地域交流に関する事業

1) ボランティアの受け入れ

- 5 月 31 日 十七夜祭踊り披露
- 6 月 15 日 サックス演奏
- 8 月 14 日 よさこいボランティア
- 10 月 15 日 大正琴ボランティア
- 11 月 12 日・20 日 阿知須小学校 4 年生(82 名) 介護体験（高齢者疑似体験）
- 2 月 7 日～11 日 ひなもんまつり

2) 山口市いきいき百歳体操出張指導

依頼なし

3) 介護予防出張講座

依頼なし

4) その他

- 10 月 7 日 介護相談員 2 名受入れ
- 3 月 19 日 阿知須中学校 福祉用具贈呈

10 実習生等の受け入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	23
介護福祉士	中村女子高等学校	2	24
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	4	60
合 計		7	107

1 1 体験学習

種 別	学 校	実人数	延人数
職場体験学習	阿知須中学校 2 年生	1	1
高齢者施設体験実習	山口大学医学部	3	3
合 計		4	4

1 2 建物補修及び設備・機器の更新等

自動火災報知設備副受診機蓄電池取替他	515,900 円
温蔵庫・スライサー修理（栄養課）	268,730 円
脱衣室・地域交流・研修室エアコン点検他	170,500 円
昇降機部分取替	172,700 円
デスクトップパソコン（事務室）	198,000 円
デジタル体重計（車椅子用）	149,710 円

白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

在宅生活の継続を見据え、洗濯、簡単な調理、買い物等の手段的日常活動動作（IADL）を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。地域の方にご利用していただける様に地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と情報交換・連携し体験利用を積極的に受け入れ新規利用者の獲得を行った。

新型コロナウイルス感染防止を踏まえ利用者の体調確認・サービス終了後の消毒の徹底を行い感染防止に努めた。

2 主要事業

1) 稼働率

- ・目標を稼働率 60%としていたが新型コロナウイルス感染等による利用控え、長期入院等あり結果、49.7%となり目標は達成できなかった。

2) 利用者数増加への取り組み（積極的な営業活動の展開）

- ・居宅介護事業所等の連携し、体験利用を 12 名受入れた。そのうち 11 名利用に結び付いた。
- ・新規利用者を獲得する為、定期的に居宅介護支援事業所へ訪問した。体験利用やサービスの内容を紹介したチラシ等を配布し、利用者の数増加に取組んだ。
- ・家族や担当ケアマネジャーへサービス利用中の写真をお渡しし、利用状況をわかりやすく伝え、情報の共有を行った。
- ・稼働率向上プロジェクトチームで特養職員と利用者増加について意見交換等を行った。
- ・買物に行けない利用者の思いに応えるため、コープの移動販売利用を開始した。利用者自ら好きな物を選んで購入することができる様、援助を行った。

3) 認知症介護力の向上

- ・認知症利用者のサービス提供方法等について月 1 回のデイサービス会議等でサービス提供方法等について協議、検討した。認知症利用者が安心してサービスを利用できるように、統一したサービス提供や、利用者に対する配慮、おもてなし等を話し合うなど、サービス向上に努めた。

- ・洗濯、買い物等の手段的日常生活動作（IADL）の支援を通して認知症予防に努めた。
- ・家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図り、ニーズに応じた個別ケアや機能訓練を行った。
- ・希望に応じ、ADLに合わせた創作活動、歩行訓練を兼ねた散歩等、柔軟な個別プログラム提供に努めた。

4) 感染症予防・事故防止対策の実施

- ・新型コロナウイルス等の感染症予防の為、職員・利用者の体調管理やサービス提供場所、送迎車の消毒を徹底した。
- ・サービス利用中、発熱等の体調不良があった場合、早期に医療機関へ受診対応する様に家族等と連携を取りながら対応した。
- ・ヒヤリハット・事故報告書を分析し同じ事故がない様に職員間で改善に取り組んだ。
- ・車両事故防止、交通マナー向上を目的に山口県警主催の無事故、無違反コンテストに参加した。結果、全職員の無事故無違反を達成した。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 308 日 一日平均利用者 15 (15.8)
30	49.7 (52.4)	1.36 (1.31)	

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見（桜）、お誕生日会
5 月	運動会、道の駅、空港バラ鑑賞、北向き地蔵参拝、お誕生日会
6 月	お誕生日会
7 月	七夕会、お誕生日会
8 月	夏祭り（よさこい、盆踊り）、お誕生日会
9 月	敬老会（タオル、カード配布）お誕生日会（職員による二人羽織）
10 月	花植え、外出（ふじみやにてアイスクリーム）お誕生日会
11 月	文化祭作品制作、文化祭見学、ドライブ、芋ほり、焼き芋、稲刈り
12 月	クリスマス会（手品）
1 月	初詣（北方八幡宮）初釜
2 月	節分行事 外出（ひなもんまつり）
3 月	ひな祭り

5 ボランティア等による舞踏等

6 月 14 日 サックス演奏

6 月 24 日 音楽療法士によるレクリエーション

8 月 14 日 よさこい演舞

6 実習生等の受入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
---------	-----	-----	-----

介護福祉士	中村女子高等学校	3	30
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	5
教員教員免許法「介護の体験」	東亜大学	1	5
合 計		5	40

7 建物補修及び設備・機器の更新等 特になし

グループホーム白松苑

1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組んだ。

2 主要事業

1) 稼働率の目標 96.1% (定員 18 名)

①早期の入居調整などに取り組んだが、入院等により目標稼働率を下回った。

2) 認知症ケアの質を高め、利用者に寄り添った個別ケアを行う。

①生け花・レクリエーション・散歩・脳トレなどを実施し、食事時間や場所の調整、居室の設えなどの個別対応を強化した。

②一人ひとりの症状への対応や困難事例をはじめ、毎月認知症についての職員勉強会を開催した。

3) 職員一人ひとりの想いを尊重した働きやすい組織風土作り

①随時、面談を行うなど職員一人ひとりの想いの把握に努めた。

②定例会議の場において、職員一人ひとりが意見を出しやすい環境を設定した。

4) 防災に関する地域との連携強化の検討。

①施設と自治会の防災体制などを自治会長と情報を共有した。

②自治会と連携した訓練の実施までには至らなかった。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

入所定員	稼働率 (%)	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
18	95.8 (95.8)	1.63 (1.63)	6,299 (6,314)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見 (桜、藤棚、芝桜)、三世代演奏会、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、ドライブ
5 月	母の日、つつじ見学、バラの見学、認知症カフェ、野菜の植え付け、かしわ

	餅作り、認知症カフェ、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
6月	十七夜、ゴテチアの見学、フルート&ギター演奏会、オカリナ演奏会、七夕飾り作り、認知症カフェ、防災訓練、誕生会
7月	七夕、二胡演奏会、オカリナ演奏会、クラシックギター演奏会、手品ボランティア、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、野菜の収穫、誕生会
8月	認知症カフェ
9月	敬老会、十五夜、大正琴、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、認知症カフェ、誕生会
10月	十五夜、コスモス畑見学、三世代トリオ演奏会、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、干支（巳）粘土細工作り、認知症カフェ、ドライブ、きらら公園イベント、誕生会
11月	介護相談員、阿知須文化祭、ふれあいまつり、jazz コンサート、認知症カフェ、誕生会
12月	餅つき、クリスマス会、認知症カフェ、防災訓練、誕生会
1月	おせち料理、初詣、小正月フェスタ、オカリナ演奏会、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
2月	節分（豆まき）、ひなもん、誕生会
3月	外部評価受審、ひなまつり（桜餅作り）、認知症カフェ、防災訓練、誕生会

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4月	7	活動報告、意見交換、古楽器アンサンブル
6月	9	活動報告、意見交換、七夕飾り
8月	7	活動報告、意見交換、三世代演奏会
10月	6	活動報告、意見交換、干支（巳）粘土細工
12月	9	活動報告、意見交換、餅つき
2月	7	活動報告、意見交換、手洗い実践

6 ボランティア等による演奏等

古楽器アンサンブル

三世代演奏会

大正琴

手品ボランティア

ミントの会（窓ふきボランティア）

7 実習生等の受入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
体験	宇部中央病院	1	1
合 計		1	1

8 建物補修及び設備・機器の更新等

フローリング張替え	423,500 円
昇降機部品取替え	119,900 円

白松苑居宅介護支援事業所

1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重することで、安心と安全のある自宅生活が継続できるサービスを、また、ご家族にとっては介護負担の軽減を図ることのできる介護支援サービスを実施した。ケアマネジャー1人の体制となり利用者数は減少のままだが、利用者が自宅において少しでも自立できるようなサービスの取り組みを行うことができた。

地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所と緊密な連携を図ることに心がけ、利用者にとって総合的かつ効率的なサービス提供に役立てた。

2 主要事業

1) 利用者の自立支援と満足度の向上

2) 関係機関との密接な連携による迅速な対応

①可能な限り研修に参加し、マネジメント力の向上に努めた。

②ケアマネジャー1人体制で支援を行うため、事業所内での話し合いはできない代わりに、他事業所や地域包括支援センターとの連携を密に図り、利用者の自立支援と満足度の向上のための介護サービスとインフォーマルな支援の提供と利用者だけでなくその同居家族に対しても支援していく体制を図った。

③各種居宅サービス事業所、医療機関及び他の関係機関との連携により、利用者の状態把握を適確に行い、リアルタイムにサービスが提供できるよう努めた。

3) 専門的知識及び技術の習得・向上

①定例の居宅支援部会や主任介護支援専門員更新研修受講のための要綱研修等への参加を通して、専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

3 事業実績（訪問回数）

年 度	年 間		月平均	年 間		月平均	年間計	月平均
令和5年度	要介護	112人	9.3人	要支援	0人	0人	9.3人	9.3人
令和5年度		117人	9.7人		0人	0人	117人	9.7人

賀宝の里白松苑

1 事業概要

令和6年度より施設運営テーマは第二章「かがほ愛」に移行し、業務のあり方や取り組みに対する職員の姿勢について掲げていくこととした。職員一人ひとりが施設への愛情や貢献する気持ちを持つことで、やがてチーム力向上に繋がり、如いては質の高いケアの提供ができるよう心掛けてきた。

また、介護保険制度の改正による協力医療機関との連携の見直しと実地指導でのアドバイスによる感染症対策の強化、そして新たな加算の取得、新LIFEシステムの稼働などの取り組みを行った。

今年度は県の指導監査を受けたが、特に指摘事項はなかった。

2 主な取り組み

1) 経営管理（サステイナブルな経営）

- ・ 予算目標稼働率（特養：95%・SS：84.5%・合算：93%）は、特養(93.2%)においては大きく下回ったもののSS(88.8%)では超えたことで、全体(92.7%)においてはほぼ予算目標を達成できたといえる。収益率では介護報酬改定のおかげで、事業計画の通り3%アップを達成した。
- ・ 節約の面では、欠食に対する職員買取りにおいて昨年度と同様の約60食をカバーしたが、米の価格高騰が影響したため食材費を圧迫した。
- ・ 山口県労働政策課の取り組みにより、360°VR撮影による施設館内全体の3D映像を山口企業マップサイト（ミライナビ）に掲載し、知名度アップを図った。

2) 運営管理①（質の高いサービス提供）

- ・ どのユニットにおいてもユニットが「暮らしの場」と認識できるよう、リビングを「食事の場」と「くつろぎの場」に明確に区分した設えに改善することができた。
- ・ 入居者一人ひとりの排泄アセスメントを実施し、それぞれの排泄時間と状態に応じた排泄用品の見直しを随時行った。
- ・ 各ユニットにおける毎月のイベントは、どのユニットでもおおむね実施できていたが、人員不足のため個別的な外出は実施できていない。
- ・ 盛付配膳においては、入居者個々の量や好みの把握、目線に合わせた配膳はできているものの、配膳時の声掛けが業務的であり、盛付配膳の意義が徹底できていなかった。
- ・ 新LIFEシステムの稼働を基にケアプランの作成に務めたが、モニタリングまでにとどまった。また、2月より精神科医による定期的なオンライン指導を受け、新たに精神科医療養指導加算の取得を開始した。
- ・ 年間の目標設定と3ヶ月毎の進捗状況の報告については継続して実施。

3) 運営管理②（リスクマネジメント）

- ・ 事故防止に関しての「傾向と対策」の検討は実施できたが、事例を使った内部研修においては、全くできていない。
- ・ 人員不足のためか、例年に比べて事故の発生件数が増加傾向にある。

4) 人事管理（人材確保・育成・職場環境）

- ・ 人材確保補の取り組みの一環である施設の知名度アップにおいては、Instagramへの投稿やYouTubeへの動画掲載などを実施した。また、家族に対してはLINEによる情報交流を実践。
- ・ 職場環境の改善として、各部署やユニットではまとまった休憩がほぼ取れるよう改善を図った。年休を使つての連休の確保は、人員不足のため達成することができなかった。

5) 設備管理（施設の維持・補修）

- ・ 令和6年度の主な機器の交換や補修として、2階廊下の空調設備の交換、屋外用の倉庫の購入、2階電気温水器の交換、特浴の修繕を実施。

6) 防災対策／地域貢献

- ・ 防災対策の強化として、7月の深夜に「土砂災害警戒レベル4」が発令された際の実際の対応を基にして、停電時の対応マニュアルを作成し、その訓練を実施。
- ・ BCPは計画を完成させ、定期的なブラッシュアップを図った。また、山介協主催のBCP合同訓練にも参加。感染症編では、内部での実地訓練を実地し、ビデオ撮影による検証も行った。
- ・ 地域貢献では、ボランティアの受入や出張講座の講師派遣を積極的に行うとともに、地域行事に

もボランティアにて参加し貢献した。(佐山地区ごみゼロ大作戦等)

3 介護保険事業の実績(年間365日稼働)

()は前年度

	定員	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ利用人員
特 養	30	93.2 ↓ (94.6)	3.92 ↓ (4.10)	10,204 ↓ (10,388)
短期入所	7	88.8 ↑ (82.2)	2.68 ↑ (2.32)	2,269 ↑ (2,106)
合 計	37	92.4 ↑ (92.3)	3.69 ↓ (3.80)	12,473 ↓ (12,494)

4 事故の発生状況

事故種別	転倒 転落	ずり落 尻もち	異 食	誤 嚥	誤薬 誤配	剥 離	無断 外出	その他	計
R 6 年度	28	27	0	1	7	9	0	13	85
R 5 年度	21	20	1	0	2	19	0	10	73
増 減	+7	+7	-1	+1	+5	-10	±0	+3	+12

※その他：連絡ミス、入居者間のトラブル、忘れ物(SS)、他

5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花まつり(中止)、清光園祭(案内なし)、ユニット単位での花見(お花見御膳)
5 月	母の日行事(各ユニット)、教證寺説法(寄付のみ)、河内神社春祭り(手伝い)
6 月	父の日行事(各ユニット)
7 月	七夕行事、
8 月	賀宝夏祭り「きてみん祭」(全体で屋内での実施)、佐山地区盆踊り(不参加)
9 月	賀宝敬老祝賀会(各ユニットにて表彰及び簡単な余興) 佐山地区敬老会(中止)*記念品の贈呈あり、佐山地区防災訓練(不参加)
10 月	教證寺説法(中止)
11 月	佐山地区ふるさとまつり(作品展示で参加)、川西地区収穫祭(実施なし)
12 月	もちつき大会「ついてみん祭」(特養・デイと別れて実施) 阿知須幼稚園交流会(実施なし)、佐山小4年生総合学習(中止) 年末大掃除(業者によるワックスがけ) クリスマスバイキング
1 月	初詣(未実施)、お正月祝い御膳の提供 佐山地区七草がゆ交流会(不参加)、佐山地区どんと焼き(不参加)
2 月	節分(各ユニットにて豆まき実施)
3 月	ひなまつり(お祝い御膳の提供)

6 娯楽・余暇活動

- ・お散歩カフェ／お茶の会(毎月1回)
- ・リハビリ体操(口腔・嚥下・他)(平日毎日)
- ・各種ボランティアサークル(指導者不在のため活動停止中)

- ・各ユニットにおける毎月のイベント
昼食づくり（パスタ）、おやつ作り、外出レク

7 ボランティアの受入れ ＊特養とデイと一体的に対応

実施時期	内 容
4 月	・花まつり（教證寺住職・仏教婦人会）＊中止、入居者へのケーキの寄贈のみ
6 月	・施設周辺の草取り（佐山ありの会）＊7 人～8 人が来所
8 月	・きずなボランティア（川西中学校生徒）＊今年度はデイが担当
11 月	・草取り奉仕清掃（仏教婦人会）

8 健康管理・衛生管理

実施時期	内 容
4 月～5 月	介護職員の特殊健康診断（夜勤者／腰痛）
5 月	入居者レントゲン健康診断（結核）
10 月・11 月	インフルエンザ予防接種（入居者、職員）
11 月～	職員定期健康診断（全員、腰痛健診）
12 月	第8回新型コロナワクチン接種（入居者）＊希望者のみ
毎週水曜日	配置医師による回診
毎月2回	歯科医師又は歯科衛生士による口腔ケア及び指導
毎月2回	精神科医師による療養指導（オンライン）＊加算取得対象
毎月1回	訪問理美容（カンテック）
毎月1回	厨房職員検便 ＊6 月～9 月は月2回の実施
毎月1回	ゴキブリ駆除（厨房12回、居室その他年2回）＊中止
毎月1回	害虫駆除（厨房：小蠅 ／外周：ムカデ）
入居者の入居時	入居前健康診断
入居者の誕生月	入居者定期健康診断
職員の採用時	雇用前健康診断

9 家族との関わり

- 1) 広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」の配布（毎月発行・送付）
- 2) カンファレンスへの参加、ケアプランの同意等（6 カ月毎の個別実施）
- 3) 各居室の他、共有ホールや喫茶店でも面会を実施（本格コーヒー等の無料サービスを実施中）
- 4) スマホの LINE を活用し、日頃の様子などの情報提供や家族との連絡のやり取りを実施
- 5) 主な行事への参加の促し（夏祭り、敬老会 等）

10 地域交流・公益的活動（地域貢献） ＊特養とデイと一体的に対応

1) 自治会活動参加

名 称	実施状況	延人数（前年度）
河内神社春祭り（ふきあげ会出店の手伝い）	年間 1 回	2 （ 0 ）
出口溜池管理道・公園等の草刈清掃 ＊春は雨天中止	年間 1 回	1 （ 1 ）
佐山地区溝普請	年間 2 回	6 （ 6 ）
佐山地区ごみゼロ大作戦	年間 1 回	5 （ 0 ）

お薬師様接待・後片付け *手伝い不要にて不参加	年間 0回	0 (0)
地域合同自主防災訓練・炊き出し参加 *実施なしの年	隔年 1回	0 (0)
佐山地区ふるさとまつり実行委員会出席 (デイ担当)	年間 2回	2 (1)
佐山区自治会評議員会／佐山西自治会班長会議(同日開催)	年間 8回	8 (8)

2) 介護予防出張講座

日時	テーマ	地区	主 催	参加者	講 師
6/26	低栄養状態を防ぐ食生活	小郡	キリスト教団小郡協会	12人	管理栄養士
9/20	認知症予防について	小郡	山手下わいわいサロン	20人	介護主任・UL
10/10	高齢者の健康管理	佐山	たんぽぽの会	14人	看護師
10/19	認知症予防について	佐山	佐山由良ひまわりの会	20人	介護主任・UL
1/29	高齢者の健康管理	阿知須	みんなの会	8人	看護師
2/21	食事の工夫について	小郡	山手下わいわいサロン	20人	管理栄養士

3) 防災対策

- ・ 山口市による土砂災害に係る避難指示を想定した情報伝達訓練の参加 *全国防災訓練の一環
日時：令和6年6月4日 終日
内容：ファックスを使用した情報伝達訓練
- ・ 災害時情報共有システム訓練
日時：令和6年5月24日 10:00～17:00
内容：厚労省・自治体・施設との情報共有システムへのログイン (情報の公表にてログイン)

11 実習生の受入れ

実 習 種 別	実 習 期 間	実人数
ユニットリーダー実地研修 (ユニットケア推進センター)	6月18日～6月21日	3人
	6月25日～6月28日	2人
	7月16日～7月19日	3人
	7月23日～7月26日	3人
	8月20日～8月23日	3人
	8月27日～8月30日	2人
	9月17日～9月20日	2人
	9月24日～9月27日	2人
	10月15日～10月18日	3人
	10月22日～10月25日	2人
	11月19日～11月22日	2人
	11月26日～11月29日	2人
	12月17日～12月20日	2人
	12月24日～12月27日	2人
	1月14日～1月17日	2人
	1月21日～1月24日	2人
	2月11日～2月14日	2人
	2月18日～2月21日	3人
	3月4日～3月18日	3人
	3月17日～3月20日	2人

		計 47 名
その他の研修	なし	

12 体験学習 ＊特養とデイと一体的に対応

- ・川西中学校職場体験学習（５月２１日・２２日） …… 3 名（今年度はデイが担当）
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修（見学学習） …… 中止
- ・佐山小学校４年生総合学習 …… 中止

13 施設見学、介護相談員派遣事業（市社協）の受入れ ＊特養とデイと一体的に対応

- ・各種団体による施設見学 …… 0 人
- ・介護相談員派遣事業 …… 0 名

14 主な施設維持補修等

屋外用物置の設置	158,000 円
空調設備機器の一式交換（もえぎ前廊下）	554,142 円
2階電気温水器の交換	162,800 円
特浴の修繕	89,650 円
居室扉の補修、共有トイレ鍵の設置、ユニットの天井クロス張り替え など	84,150 円
	円

賀宝の里白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

令和６年度より施設運営テーマは第二章「かがほ愛」に移行し、業務のあり方や取り組みに対する職員の姿勢について掲げていくこととした。職員一人ひとりが施設への愛情や貢献する気持ちを持つことで、やがてチーム力向上に繋がり、如いては質の高いケアの提供ができるよう心掛けてきた。

また、協力医療機関の実地指導でのアドバイスによる感染症対策の強化、新 LIFE システムの稼働などの取り組みを行いつつ、デイホール内における温度環境（特に冬場）の改善を図った。

今年度は、台風の影響により１日だけ閉所した。

2 主な取り組み

1) 経営管理（サステイナブルな経営）

- ・全体での年間平均稼働率(86.3%)は前年度比較で2.3%下回ったものの、年間平均介護度(1.55)が上回ったことや介護報酬改定による単価アップにより、収益率は3%アップとなり、今年度の予算見込額においてもかなり大きく上回ることができた。
- ・総合事業利用者より通所介護利用者にウェイトをおいた受入体制においては、通所介護利用者の割合が93%としたことで、収益率の向上の要因となった。
- ・前年度に続き、ケアマネ等とは常に連携を図ってきたことで、体験利用者は11名、そのうち、9名が新規利用に繋がった。
- ・情報交換を行う関係機関の拡充は、対応できていない。
- ・節約の面では、特養における内容と同様。欠食に対する職員買取りは、38食をカバー。

2) 運営管理①（質の高いサービス提供）

- ・体系化したアクティビティにおいて、グループ分けした設えは一定の作業コーナーを配置しただけで十分な設えには至っていないが、メニューを明確化したことで、集団レクから個別レクへの移行ができ、個別化を図ることができた。
- ・信頼を損ねるようなミスをしないように努めてきたが、連係ミスなどがあった際のチーム全体でカバーしていくという姿勢や他職員への協力的態度が薄く、十分な意識改革ができなかった。
- ・業務の細分化とそれに伴う担当者の配置により、役割の明確化と責任感の向上を図った。当日担当者の配置においては、職員間での格差があるものの、その役割の理解と責任感が定着してきたといえる。介護保険制度改正による入浴介助研修については、全介護職員が動画配信にて受講。
- ・個々のニーズに基づいたサービス提供や利用者の目線に立った配慮が実践できるように寄り添いのケアに努めた。職員全体でしっかりと利用者に向き合っているものの、適確な声の掛け方やその場の判断力に格差が伺えた。
- ・新 LIFE システムの稼働を基にケアプランの作成に務めたが、適確なニーズを把握するためのアセスメント力を向上させるための取り組みが不十分だった。
- ・年間の目標設定と3ヶ月毎の進捗状況の報告については継続して実施。

3) 運営管理②（リスクマネジメント）

- ・車両トラブル時における業者への連絡等の対応マニュアルの作成に取り組んではいたが、完成には至らなかった。
- ・サービスの利用中における緊急時又は事故発生時の対応マニュアルを作成し、全職員に周知徹底を図った。事故防止における取り組みについては、事故防止委員会を通して実施しており、特養における内容と同様。
- ・事故の発生件数は前年度よりわずかに減少したが、忘れ物や荷物の未確認等の不注意が多い。

4) 人事管理（人材確保・育成・職場環境）

- ・人材確保が困難な状況にあるため、全体の業務の見直しを図り、利用者に係る時間を確保するなど、サービスの質を落とさないように少数精鋭での対応を行った。
- ・職場環境の改善は、特養における内容と同様。ほぼ1時間休憩を取るよう努めた。

5) 設備管理（施設の維持・補修）

- ・個別浴槽を必要とするケースについては特養の個浴を利用することとしていたが、該当ニーズに該当する利用者はいなかった。デイ内で新たに個浴を設置することは経費面で困難と判断。
- ・ホール内における冬場の暖は、前年度に購入した大型ファンヒーターを使用することで充分確保できたが、安全対策のためのガードが設置できていない。

6) 防災対策／地域貢献

- ・防災対策の取り組みは、防災委員会を通して実施しており、特養の内容と同様。また、BCPにおいても特養と同様に、計画を作成しブラッシュアップを図った。
- ・地域貢献においても、特養と一体的に行っており、特養の内容と同様。

3 介護保険事業・総合事業の実績

（ ）は前年度

	定員	営業 日数	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ 利用人員	一日平均 利用人員
通所介護	18	308 (307)	80.3 ↓ (82.0)	1.62 ↑ (1.51)	4,452 ↓ (4,529)	14.5 ↓ (14.8)

総合事業			6.0 ↓ (6.6)	0.57 ↑ (0.56)	330 ↓ (366)	1.1 ↓ (1.2)
合 計			86.3 ↓ (88.6)	1.55 ↑ (1.44)	4,782 ↓ (4,895)	15.5 ↓ (15.9)

4 事故の発生状況

事故種別	転倒 転落	ずり落 尻もち	異 食	誤 嚥	服薬 忘れ	忘れ物	無断 外出	その他	計
R 6 年度	5	5	2	0	0	6	1	13	32
R 5 年度	3	10	0	0	6	5	3	7	34
増 減	+2	-5	+2	±0	-6	+1	-2	+6	-2

※その他：連絡ミス、忘れ物、荷物の未確認、衣類の取り違い 他

5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花まつり（中止）、お花見御前 ホール入口の飾り付け制作（桜吹雪）
5 月	母の日行事（手作りおやつ：中止、花束と記念写真の贈呈）、 入口の飾り付け制作（藤の花）、壁面の飾り付け制作（こいのぼり）
6 月	父の日行事（手作りおやつ：中止、花束と記念写真の贈呈）、 ホール入口の飾り付け制作（紫陽花）、壁面の飾り付け制作（アヤメ）
7 月	七夕飾り作り、壁面の飾り付け制作（ひまわり）、 賀宝夏祭り「きてみん祭」（全体で屋内での実施）
8 月	賀宝夏祭り「きてみん祭」（全体で屋内での実施）、 夏祭り週間行事（夏の花：塗り絵）
9 月	賀宝敬老祝賀会（デイホールにて表彰・余興）、 壁面の飾り付け制作（コスモス、銀杏・紅葉・干柿）
10 月	壁面の飾り付け制作（来年の干支、椿、ポインセチア）10 月～12 月、 手作りおやつ（ドーナッツ）
11 月	佐山地区ふるさと祭り（作品出品）、 壁面の飾り付け制作（10 月から継続）
12 月	もちつき大会「ついてみん祭」（特養・デイと別れて実施）、 クリスマスバイキング、年末大掃除（業者ワックスがけ）
1 月	入口の飾り付け制作（・・・）
2 月	節分（豆まき）、おひなさま飾りつけ
3 月	おひなさまとの写真撮影会、手作りおやつ（苺クレープ）

※毎月、誕生日会（プレゼント贈呈）を実施。

6 ボランティアの受入れ *特養とデイと一体的に対応

- ・特養の内容と同様
- ・デイのみの対応：傾聴ボランティア・話し相手（みみの会） *中止

7 地域交流・公益的活動（地域貢献）

- 1) 自治会活動参加 ＊特養とデイと一体的に対応
・特養の内容と同様
- 2) 介護予防出張講座 ＊特養とデイと一体的に対応
・今年度は、講師派遣なし
- 3) 防災対策 ＊特養とデイと一体的に対応
・特養の内容と同様
- 4) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
12 月	4 人	現況報告（利用実績・主な取り組み・サービス内容 等）
3 月	3 人	現況報告、利用者アンケートの結果報告、求人募集の依頼

8 実習生の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
なし		0	0

9 体験学習 ＊特養とデイと一体的に対応

- ・川西中学校職場体験学習（5月21日・22日） ……3名（今年度はデイが担当）

10 施設見学、介護相談員派遣事業（市社協）の受入れ ＊特養とデイと一体的に対応

- ・特養の内容と同様
- ・体験利用／見学 ……11名（うち、9名利用開始）

11 主な施設維持補修等

屋外用物置の設置	158,000 円
公用車（新車）購入	2,196,630 円

多機能ホーム遠波の里白松苑

1 事業概要

「家庭や地域での心豊かな生活を支える」を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していく為のサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の機能を活用して提供しました。

2 主要事業

1) 稼働率の維持

- ① 地域包括や居宅サービス事業所、医療機関と情報共有を図ったが12月以降、利用者を増やす事が出来ず稼働率が低迷した。（令和6年度 平均稼働率89%）

2) 住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭に、援助内容の見直しと実践

- ①一人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し臨機応変に対応し在宅生活の継続に努めた。

- ②家族、事業関係者と緊密な情報提供を図りきめ細かいサービスの提供に努めた。
- ③利用者の ADL に合った制作活動や体操、散歩等を行い転倒防止に取り組んだ。
- ④感染防止対策を行ってきたが 1 月、体調不良者が増えた為、1 週間通いのサービスを中止している。訪問は、継続
- ⑤ケアプランのアセスメントや短期期間の見直しを行っている。今後も継続し行う。

3) 地域行事へ参加し地域との交流の機会を増やす

- ① 地域行事への参加や散歩等で地域の方とふれあい交流している。

3 介護保険事業の実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	1 月あたり
登録	22	24	24	25	25	24	23	23	20	20	19	19	22
通い	12	12	13	13	12	12	12	12	11	7	7	7	11
泊り	7	7	8	8	8	8	8	8	7	5	5	5	7
訪問	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3
介護度	1.19	1.18	1.18	1.19	1.19	1.28	1.26	1.26	1.31	1.21	1.21	1.21	1.12
稼働率	88	96	96	100	100	96	92	92	80	80	76	76	89

4 季節の行事

実施時期	内 容
4 月	花見
5 月	端午の節句・母の日行事
6 月	父の日の行事
7 月	七夕の行事
8 月	お菓子作り
9 月	月見会・敬老会・お彼岸
10 月	ミニ運動会・ハロウィンの行事
11 月	コスモス見学
12 月	ゆず湯、クリスマス会
1 月	初詣
2 月	節分・バレンタインデー
3 月	ひな祭り・ホワイトデー

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
5 月 27 日	7 名	利用状況、活動報告
7 月 22 日	9 名	利用状況、活動報告、熱中症について

9月 24日	8名	利用状況、活動報告、防火関連について
11月 25日	6名	利用状況、活動報告、外部評価
1月 27日	10名	利用状況、活動報告、外部評価総括
3月 10日	9名	利用状況、活動報告

6 ボランティア・出張講座等

- ・ありの会 5月、12月 （草取り、窓ふき）
- ・ミントの会 （草取り）
- ・散髪ボランティア （辻田さん、宮崎さん）
- ・おじさんズ （歌のボランティア）

- ・車椅子使い方教室
6/5 佐山小学校

- ・介護サービス派遣事業
10/24(木) 社会福祉協議会 2名

- ・宇部中央病院 看護師実習受け入れ
10/18, 23 2名

- ・介護体験授業 嘉川小学校
11/7 車椅子体験 11/11 高齢者疑似体験